

学 部	医療栄養学部
学 科	医療栄養学科
カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）	
<p>医療栄養学や将来の進路に関心をもち、勉学する意欲を高めるため、1年次から医療入門科目や専門基礎科目の講義・演習を開講する。</p> <p>2年次から専門科目を開講し、講義・実習・演習を通じて高度な専門知識と技能を習得することにより、医療専門職者と協働して能力を発揮できる管理栄養士を養成する。</p> <p>看護リハビリテーション学部との連携科目や病院・保健施設等勤務の管理栄養士による実践的講義演習を開講し、幅広い知識・技術を養うとともに、チーム医療の有用性を理解し、医療人としての共通認識を体得する。</p> <p>臨地実習においては、本学が提携する病院・保健施設をはじめ、多様な実習施設において少人数制によるきめ細やかで実践的な実習を行う。</p> <p>卒業研究においては、実践的な技術や能力を習得させるとともに問題解決法を修得し、主体的に任務を遂行できる能力を養う。</p> <p>1年次から4年次を通じて、文学部、人間科学部が提供する専門科目を選択履修することで、国際的な視野のもと、豊かなコミュニケーション能力を備えた人材を養成する。</p> <p>医療栄養学科では医療に関わる栄養学を幅広く修得し、地域・医療・福祉の現場で管理栄養士として活躍できる人材の育成をめざし、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1年次に医療入門科目（管理栄養士入門）を開講し、医療栄養学や将来の進路に関心を持たせる。 1年次から管理栄養士養成コアカリキュラムの教育内容に沿った専門基礎科目を一部（解剖学、生化学、食品学、調理学等）開講し、医療栄養学を勉学する意志を高める。 2年次から、専門基礎科目に加えて専門科目を開講し、講義と実習・演習を有機的に組み合わせ学習することにより、医療栄養学の高度な専門知識と技能を習得する。 3年次及び4年次においては、臨地実習を病院・保健施設、保健所等で行い、きめ細やかな指導により、医療栄養学の知識のもとに技能を体得し、現場で実践できる能力を養う。 各年次に看護リハビリテーション学部との連携科目（医療コミュニケーション論、医療リスクマネジメント、医療倫理、チームケア論）を開講し、チーム医療の重要性を理解するとともに、医療現場における実践的な能力を養う。 病院勤務の管理栄養士による実践的な講義と演習により、チーム医療の一員として活動できる能力を養う。 卒業研究（4年次）を全学生に課すことにより、課題の発見・問題解決能力を涵養するとともに自学する能力を養う。 1年次から4年次を通じて、文学部・人間科学部提供の専門科目を任意に選択履修することにより、国際的な視野のもと、地域の人々と共に歩む豊かなコミュニケーション能力を養う。 	